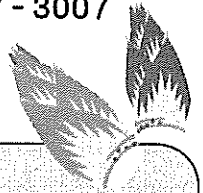




山菜採りの遭難防止



例年、県内では4月から6月にかけて「山菜取り」で入山し、死傷する遭難が多発しています。山菜を探すことに夢中になるあまり、道に迷ったり、知らぬ間に危険な場所に立ち入ってしまうなど、多くの危険が伴います。万が一に備えて、携帯電話、雨具、ヘッドライト、非常食、飲料など必ず携行しましょう。山菜取りで入山する際も、登山と同様に「遭難するかもしれない」という危機感を持ち、必ず家族や友人などに「入山場所と予定」を伝えましょう。家族や身近な人に山菜取りをする方がいる場合には、周囲から積極的に注意を呼び掛け、万が一の遭難を防止しましょう。

○入山場所と予定を家族等に伝えましょう

入山場所が特定できなければ、捜索は非常に困難となります。

○携帯電話を持って行きましょう

携帯電話は、万が一の際の重要な通信手段となります。必ず携行しましょう。

○急斜面での滑落に注意しましょう

急斜面や笹藪は、非常に滑りやすくなります。足元に十分注意し、危険場所への入山は避けましょう。

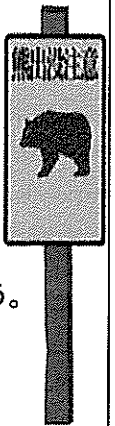
○単独入山は避けましょう

単独で入山した際に、怪我などで救助要請が出来ない場合もあります。出来るだけ複数で入山しましょう。

○熊など野生動物に注意しましょう

熊やイノシシに不意に遭遇し、襲われることもあります。

野生動物からの危険防止のために、鈴やラジオなど音の出るものを携帯しましょう。



梅雨期の災害に備えて



【梅雨前線とは？】

6月頃になると南の暖かい太平洋高気圧と冷たいオホーツク海高気圧の境目に前線が発生し日本付近に停滞します。この前線を『梅雨前線』といいます。

長野県の平年の梅雨期間は、6月初旬から7月下旬で、この間は長雨や局地的な大雨となるため、土砂崩れや河川の氾濫等の被害が発生しやすくなります。

【梅雨の時期の危険】

- 大雨・激しい雨
大雨になると、視界不良や道路の冠水などが起きやすい。
- 土砂災害・地滑り
長時間の雨や強い雨が続くと地盤が緩み、土砂崩れや地すべりの危険性が高まる。
- 河川の増水・洪水
強い雨が続くと、川の水位が上昇し、氾濫や低地の浸水が起こるおそれがある。

【身を守り、財産被害を防ぐための留意事項】

- 最新の気象情報に注意
テレビ、アプリ等で最新の気象情報を確認する。
- 危険な場所には近づかない
増水した河川や側溝等に近づいたり、田んぼの様子を見に行く等は危険。
- 次の兆候があったら、早めに避難
 - 雨が降っているのに、川の水位が下がる。
 - 川の流れが濁り、流木が混じる。
 - 山鳴りがする。
 - 崖に亀裂が見られる、水が湧き出る、小石がパラパラ落ちてくる等。
- 防災機関の指示に従う
避難指示には速やかに従い、「無駄足覚悟で早めの避難」に心掛ける。

